

小山田小

2025年4月7日

1号

町田市立小山田小学校

校長 悴田 隆良

042(797)1824

<http://www.machida-ky.jp/e-oyamada/>

2025年度が始まりました。

校長 悴田 隆良

学校の校庭の桜が満開になろうとしています。

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。本日、32名の新1年生を迎え、全校で200名の子供たちと新年度をスタートしました。昭和27年（1952年）忠生第二小学校として開校した本校は、今年度で創立74年目となります。

4月より校長として着任いたしました。これまで同様に教職員が一丸となって、子供たちと教育活動を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

先日、校長室に地域の方が来てくださり、小山田地区のことが書かれている冊子を読みました。地域のことやまだよくわからない私にとって、ありがたううれしく思いました。冊子を読み進めると、私たちの学校がある小山田の地域には長い歴史と文化があることをあらためて知ることができました。また、本校の教育活動には地域の方々のお力添えをいただいているものも多いと聞いています。そのような学びの機会を作ってくださいに深く感謝する次第です。

別の日に教職員で学校の里山巡りをしました。あいにくの雨模様でしたが、雨で水滴が付いている植物の可愛らしさや大きな木々がそびえる厳かな雰囲気を感じました。この気持ちは雨降りだから感じることもできたのだと思います。晴れた日は同じ里山でも、きっと違う感想をもつのだらうと思います。さらに言えば、時間帯が違ったり、季節が変わったりしても、そこには新たな思いが生まれてくるのだと思います。この紙面を執筆しながら「物事は視点や切り口が違えば、その見方や考え方はいろいろあるものだ」「日々の生活の中でも、このことは大事にしなければいけない」と深く考えました。

未来を歩いていく子供たちには様々な環境が待っています。その変化する環境の中でたくましく生きていく力を育んでいかねばなりません。学校は集団生活の場なので、毎日いろいろな人と関わります。ですからいろいろな思いや考えをもっている人と出会います。その時にどのように相手を受け止め、どのように自分の思いを表現していくか…これもこれから必要とされる力の一つだと考えます。教科の学習だけでなく、学校生活のあらゆる場面が子供たちにとっては貴重な学びの場です。そのような学校づくりに邁進いたします。

追記・・・今度はお天気の良い日に学校の里山を歩いてみようかな・・・